

## 教育委員会定例会議事録

令和5年4月17日 午後2時00分 開会

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	山 田 清 志
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	戸 苺 恵 理 子
委 員	佐 原 圭 子

## 説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長	酒 井 保 吏
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
学校教育課主幹	中 村 立 志
生涯学習課長	石 黒 泰 基
スポーツ課長	小 原 寛 明
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	近 藤 邦 宏
主 事	森 下 徹

## 議事日程

- 第1 議席の決定
- 第2 議事録署名委員の指名
- 第3 第17号議案 令和5年度における県民の日学校ホリデーについて
- 第4 その他報告 令和4年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和5年度の組織目標について
- 第5 その他報告 令和5年3月定例会市議会における教育問題について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。議事に先立ちまして、4月1日付で新たに教育委員として佐原委員が就任されましたので、一言就任のご挨拶をいただきたいと思います。お願いいたします。

す。

(佐原委員挨拶)

「高本教育長」 ありがとうございます。それでは、各委員及び事務局からも自己紹介をさせていただきたいと思います。

(教育長、山田委員、菅沼委員、戸苅委員、前田部長挨拶)

「高本教育長」 今回の教育委員会が新年度第1回目となります。4月の人事異動により、事務局に異動があり、定例会出席者の顔ぶれも大きく変わりました。異動がありました杉浦課長、石黒主幹、石黒課長、小原課長、渡邊主幹はそれぞれ自己紹介をお願いします。

(事務局職員挨拶)

「高本教育長」 それでは議事に移ります。始めに日程第1、「議席の決定」を行います。これは、教育委員会会議規則第5条の規定により、「委員の議席は、教育長が定める。」こととなっていますので、新年度第1回目である今回においてその議席を定めるものです。従いまして、ただ今お座りの配席を、今年度の各委員の議席にしたいと思っておりますので、今後、よろしく願いいたします。

「高本教育長」 次に日程第2、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、山田・戸苅 両委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

「高本教育長」 続いて、日程第3、第17号議案「令和5年度における県民の日学校ホリデーについて」を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。

「中村学校教育課主幹」 第17号議案「令和5年度における県民の日学校ホリデーについて」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 令和5年度からスタートする県民の日学校ホリデーを、今年度の豊川市では令和5年11月27日(月)とするという提案です。この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「戸苅委員」 11月27日(月)は、中学校2学期の学期末試験が終わっているタイミングとなりますか。

「中村学校教育課主幹」 試験日程等を確認して、休業日にしても問題ない日として、この日を提案させていただきました。

「山田委員」 県民の日学校ホリデーが適用されるのは、小中学校だけですか。

「中村学校教育課主幹」 県立学校については、同様の通知がされているので、県立高校も同じように休業日が設けられると思います。11月27日(月)については、児童クラブが開設されるように子育て支援課と調整しているところです。

「菅沼委員」 豊川市は11月27日（月）にしたいということですが、ほかの市町村は別の日程となるのですか。

「中村学校教育課主幹」 豊橋市では11月24日（金）を予定しているようです。自治体ごとに異なると思います。

「菅沼委員」 家族で過ごすための日ですが、仕事等でそれが叶わない人も出てくると思います。この休業日の趣旨を大切に周知して欲しいと思います。

「中村学校教育課主幹」 休業日設定の通知とともに、保護者に趣旨が適切に伝わるよう周知していきたいと思います。

「高本教育長」 ほかにご質問、ご意見がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第3、第17号議案「令和5年度における県民の日学校ホリデーについて」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 続きまして、日程第4、その他報告「令和4年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和5年度の組織目標について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「前田教育部長」 その他報告「令和4年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和5年度の組織目標について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 学校教育課に伺います。少人数学級や小学校高学年において教科担任制を導入したとありますが、これはそれぞれの学校判断で導入していくのですか。

「中村学校教育課主幹」 文科省から当初話があったのは、教科担任制については算数、理科、体育、そして今年度から英語を加えた4教科で教科担任制を進めるというもので、それに係る加配教員も4名つけてあります。加配のない学校においても教科担任制を進めるため、担任同士で授業を交換したり、学年全体の算数はこの先生、理科はこの先生というように、学校ごとに工夫しながら高学年を中心に教科担任制を推進しています。

「山田委員」 この4教科は教科担任制を推進しましょうという動きがあり、メリットも理解しています。一方で、学級担任がすべての子どもを見ながら育てていくという基本的な教育の良さというものもあると思いますので、教科担任制はゴールではないと思います。不登校や特別な配慮が必要な子どもたちが増えている中で、教科担任制になるべく移行していこうというスタンスよりも、教科担任制の良さが活かせるようにしていこうくらいのスタンスのほうが、良いのかもしれない。

「高本教育長」 教科担任制の導入による成果など、事務局から補足等ありますか。

「中村学校教育課主幹」 特に調査等を行ったわけではありませんが、小学校でも教科担任制を導入した場合、一度教材研究を行えば、ひとつの教材で複数クラス分の授業に活用できるので、教員の働き方改革にもつながっているのだと思います。

「山田委員」 令和5年度の組織目標の中で、中学校休日部活動の地域移行について記載がありますが、現在の進捗状況等を教えてください。

「前田教育部長」 部の目標ということで私から答えさせていただきます。休日部活動については、昨年の6月頃からスポーツ庁を中心に検討が進められているところです。もともと国は部活動全体を視野に入れて議論を進めているところですが、まずは休日を3年程で進めることになっています。豊川市においても、休日の部活動に関して今年度検討委員会を立ち上げる予定です。一方で、部活動の大会、県大会や全国大会が今後どのようになるのかが不透明な状況です。そもそも文科省が学習指導要領上の位置づけをどのようにしていくのか不明という状況です。そのような中で、休日の部活動を検討する必要があります。国、県、市がそれぞれのガイドラインを作って、今後適正な部活動の在り方を考えていくこととなりますが、本市としては子どもの居場所づくりと組み合わせながら考えていきたいと思っています。

「菅沼委員」 関連して伺います。豊川市には中学校が10校ありますが、その中学校区ごとに地域移行していくという考えですか。指導者に先生ではなく、地域の人に入っていただくとお思います。学校の規模ごとに部活動の種類も限定されている、例えば小さな中学校だと部活動の種類も少ないので、生涯学習的な観点として豊川市全体として地域移行を考える。そのような組織を作って、土日、平日も行けるようにすると思います。そうすれば、教員は平日も部活動の指導時間が減り、働き方改革につながるとお思います。地域移行を中学校区ごとに考えるのか、豊川市全体として考えるのかということです。

「前田教育部長」 今年度発足する検討委員会においては、そのようなことを含めて検討することとなります。現在、地域ごとにスポーツクラブがありますので、それらを活用しながら、マンパワーとして人材バンクのような制度を整備することが必要だと考えています。菅沼委員が言われたとおり、学校規模ごとに差異があります。豊川版の休日部活動移行については、地域や民間へ完全に移行するというところまでは想定していませんが、競技人口が少ないマイナースポーツの場合は、学校単位では成立しないことも想定されますので、そのような場合は学校区を超えて合同実施するなどの対策も必要だと思います。幅広く、皆さんの意見をいただきながら、柔軟な形で議論が進むことを期待しています。

「菅沼委員」 例えば先のオリンピックで話題となったスケートボード等は、現在部活動としてはないのかもしれませんが、実際にはたくさんの子どもたちがやっています。そういったものも含め、これからは学校区の垣根を越えて、生涯学習的な観点で取り組むことも良いと思います。

「高本教育長」 最終的には競技種目によって、色々な形態が出てくるかもしれませんが。運動部で言えばスポーツ協会とうまく連携が取れるのか等、そのあたりの課題も出てくるかもしれません。検討する内容は多岐に及びそうです。

「戸苅委員」 施設関係の要望です。施設長寿命化計画があると思います。教育委員会は学校をはじめ様々な施設を管理していて大変だと思いますが、突発的な修繕にも対応できるような予算確保をお願いしたいと思います。昨年度は補正予算として様々な修繕費用の予算化がなされました。市民の皆さんが使うものでもあるので、計画的な修繕はもちろんのこと、突発的な修繕にも対応し、不便なことがないような予算確保を期待します。

「高本教育長」 ほかにご質問等なければ、その他報告「令和4年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和5年度の組織目標について」は以上とさせていただきます。

「高本教育長」 続きまして、日程第5、その他報告「令和5年3月定例会市議会における教育問題について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「前田教育部長」 その他報告「令和5年3月定例会市議会における教育問題について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 学校教育課に伺います。中川市議からいじめや不登校についての質問がありました。いじめや不登校の件数が増加しているとのこと。コロナ禍によりいじめの件数は減少したが、不登校の人数は増えてしまったというのが個人的なイメージです。コロナにより子どもたちが密にならない状況となり、それによりいじめは減ったけれども、不登校が増えたというイメージを持っています。いじめの件数についてはどのように考えられていますか。

「中村学校教育課主幹」 いじめ件数を減らしていくというのは当然なのですが、いじめ件数の認知漏れゼロを目指すということが何よりも大切だと考えています。認知漏れゼロを目指すことにより、認知件数が増加したとしても、それは必ずしもダメなことではないと考えています。教育委員会からは、学校に対して、いじめゼロよりも認知漏れゼロを目指すようにと伝えています。

「菅沼委員」 今言われたとおり、認知漏れゼロを目指すのはとても重要なことだと思います。

「高本教育長」 ほかにご質問等なければ、「令和5年3月定例会市議会における教育問題について」は以上とさせていただきます。

「高本教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会  
は閉会といたします。

(午後3時20分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員